



令和 7 年 6 月 2 日

午前 〇 時 4 分 40 分受領

令和 7 年 06 月 02 日

南山城村議会議員 奥森 由治 様

南山城村議会議員 齋藤 和憲

一 般 質 問 通 告 書

次のとおり通告します。

質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手
1, 村の農業について	いま、歴代の自民党による減反・減産政策で、深刻な米不足が生じ、昨年比 2 倍の米価高騰が消費者を襲っている。一方農家の高齢化と後継者不足で農業の生産基盤が急速に崩れてきている。村も例外ではない。米以外の農作物生産も衰退してきていると聞く。そこで 質問する。 ① 村の主産業のお茶の現状などはよく聞くが、お米についてはあまり聞かない。村の 6 年度の米農家の軒数を確認したい。 ② 米農家への補助はあるのか。あるならどれぐらいか ③ 府内で有名な村の原木シイタケ生産農家は何件か。併せて 大河原トマトで有名なトマト生産農家は何件か。 ④ お茶以外の農産物への補助状況とこれからの対策を確認したい。	村長
2, 「児童クラブ」の開設時間の延長を	村は「児童クラブ」の事業目的を「保護者の就労や疾病などの理由により保護育成を受けられない児童に適切な場所を提供して児童の健全な育成を図る」としている。 村の保護者も農業離れがすすみ、村外企業等への就業が増えてきている。 保護者から「子どもが保育園児の場合は保育時間が 6 時半なので、正職員として働くことができるが、児童クラブは 6 時なので正職員が難しく、パートでの就業を余儀なくされている」との声が寄せられている。 笠置町では有料ではあるが希望者は 7 時まで、和束町では 6 時半と聞いている。そこで質問する。 ① 3 月議会の鈴木議員の一般質問で「児童クラブ」の終業時間延長のアンケートを実施すると答弁しているが、実施したのか、実施していたなら、延長の声はあったのか。 ② 30 分延長した場合の問題点はなにか ③ 現状の児童クラブの児童と指導員の人数は。	村長

3、通学補助駅の延長を	④ 他町のように6時以降は延長として対応することにより、児童も必要な指導員も少なくなり対応可能と思うが。 今年4月からの高校生の通学補助制度が実現し、多くの保護者から喜びの言葉を聞いている。ただ、知らない保護者もいたのでもう少しPRを。 しかし、保護者が請願したのは「教育平等化であり、その一環として木津駅までの通学補助だ。」 今回の村の補助は評価するが、村民の声に応えるためにもう一步の対応をすべきだ。そこで質問する。 ① 最新の通学補助の申請状況はどうなっているのか。 ② 事業目的が「JR関西線利用促進」と同時に「保護者への経済的負担の軽減」である。であれば加茂駅ではなく木津駅まで通学補助の対象になるのではないか ③ 通学補助の財源は「ふるさと南山城村みらい応援基金」が主であり、応援基金の設置目的は「村での暮らしを守り続ける」となっており、財源からも木津駅までの補助を否定するものではないと思うがどうか。	村長
4、駅に向かうNT 入口の道路の勾配対策を	高齢者施設用の道路改良後の道路で、住民から下りの時、改良前は階段があり安全に降りられたが、今はないため怖さを感じる。また登りは勾配が改良前より長いため、きついと感じるなどの声を聞いている。この問題は自治会も取り組んでいる。住民からの声を受けたので対策などを質問する。 ① 改良前と改良後の勾配はどうなっているか。 ② 改良後の道路は現状確認したのか。 ③ 地元自治会などとの協議で、住民の安心・安全な対応内容を確認したい。	村長

1 質問の要旨は、具体的に記載してください。(議員必携 154 ページ参照)

2 質問の相手は、村長、行政委員会の長または監査委員とします。

3 あくまでも「質問」に徹し、要望やお願い、お礼の言葉は慎むこと